

## 第3回独立行政法人農林漁業信用基金漁業災害補償関係業務運営委員会 議事概要

### 1 開会の日時及び場所

- (1) 日時 平成29年2月15日(水) 13時25分
- (2) 場所 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル11階  
独立行政法人農林漁業信用基金 第3, 4会議室

### 2 出席者

#### 【運営委員】

- ・ 出資者  
猪苗代委員、佐藤委員、田中委員、藤吉委員、本多委員
- ・ 学識経験者  
碓委員、亀田委員、竹田委員、山下委員

#### 【信用基金】

堤理事長、石井副理事長、高野総括理事、木島理事、井田理事、竹渕監事、富田監事  
(オブザーバー)

#### 【主務省】

武田水産庁漁政部漁業保険管理官補佐

### 3 提出議案

- (1) 平成29年度年度計画(案)について

### 4 議事経過の概要及びその結果

信用基金から資料に沿って説明がなされた後、審議が行われ、平成29年度年度計画(案)については、原案のとおり了承された。本計画(案)に関する各委員からの主な質問、意見は以下のとおり。( ( ) 内は、これに対する説明)。

#### 【質問】

- ① 予算の収支差は資金計画の繰越金という認識でよいか。  
また、収支計画の表の作りについて伺いたい。  
(・ 予算と資金計画の違いについては、繰越金等を含むかどうかという違いがあり、その関係から予算の収入と収出の差は繰越金等という認識で問題ない。  
収支計画は、損益ベースで表したもので、5勘定分を連ねて表記している関係上、損失を見込む林業については、収益に当期総損失を計上し、利益を見込む他の4勘定については、費用に当期総利益を計上している。)
- ② 情報セキュリティコンサルティングを受けて、どのような対策を実施したのか。  
(・ コンサルティング業者から基金の情報セキュリティ上の問題の指摘を受け、例えば、パソコンを持ち出せないようワイヤーをかけることや、標的型攻撃メールへの対策訓練を行うなど様々なセキュリティ対策を講じたところ。今後も継続して対策

を強化していく所存。)

**【意見】**

- ① 東海・東南海地震等が起こった場合には大災害の発生も予測され、資金需要が見込まれるところ、貸付金利の引下げには感謝したい。

5 閉会の日時 平成29年2月15日(水) 14時14分